

志登茂川水系(中の川) 流域 洪水ハザードマップ

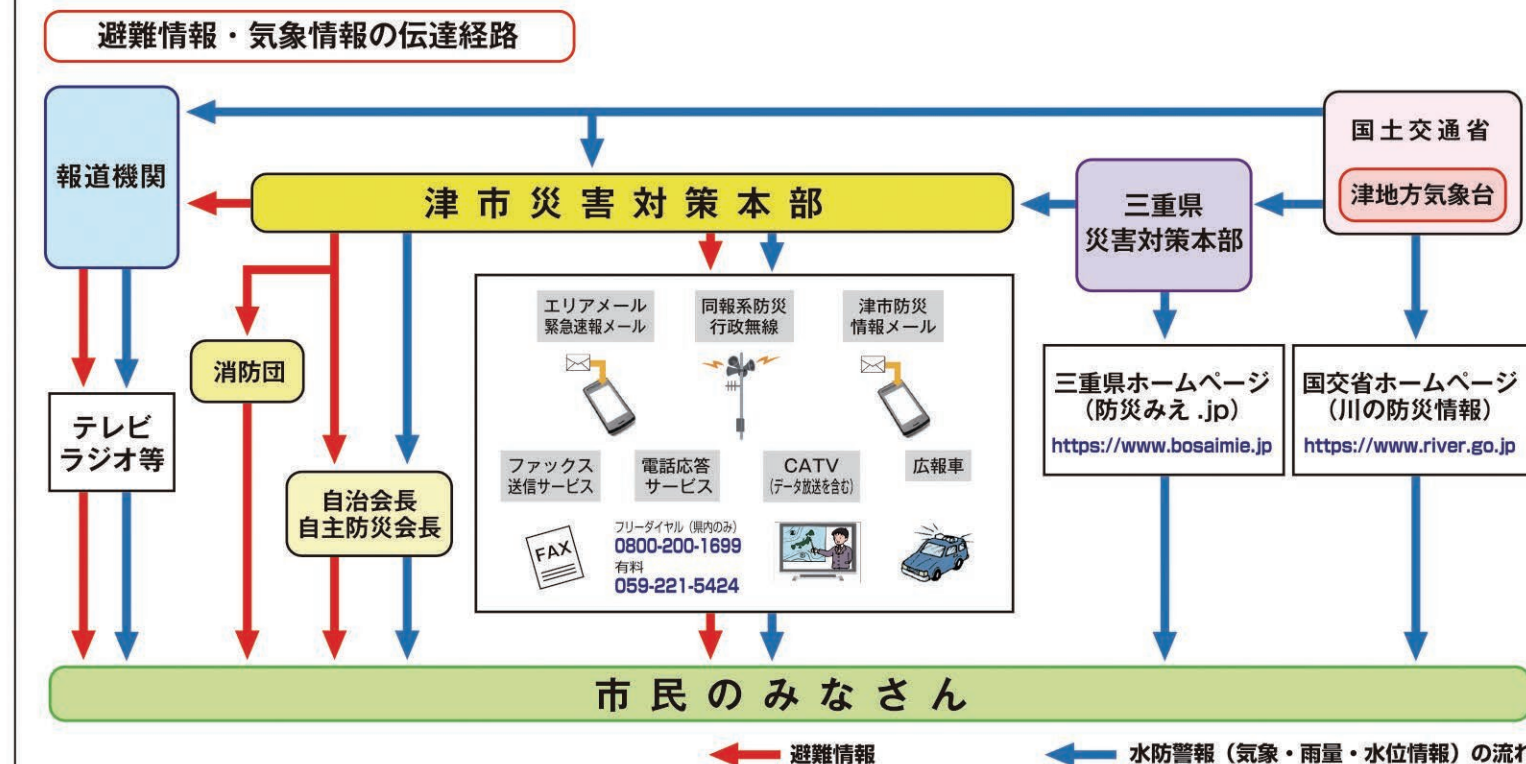
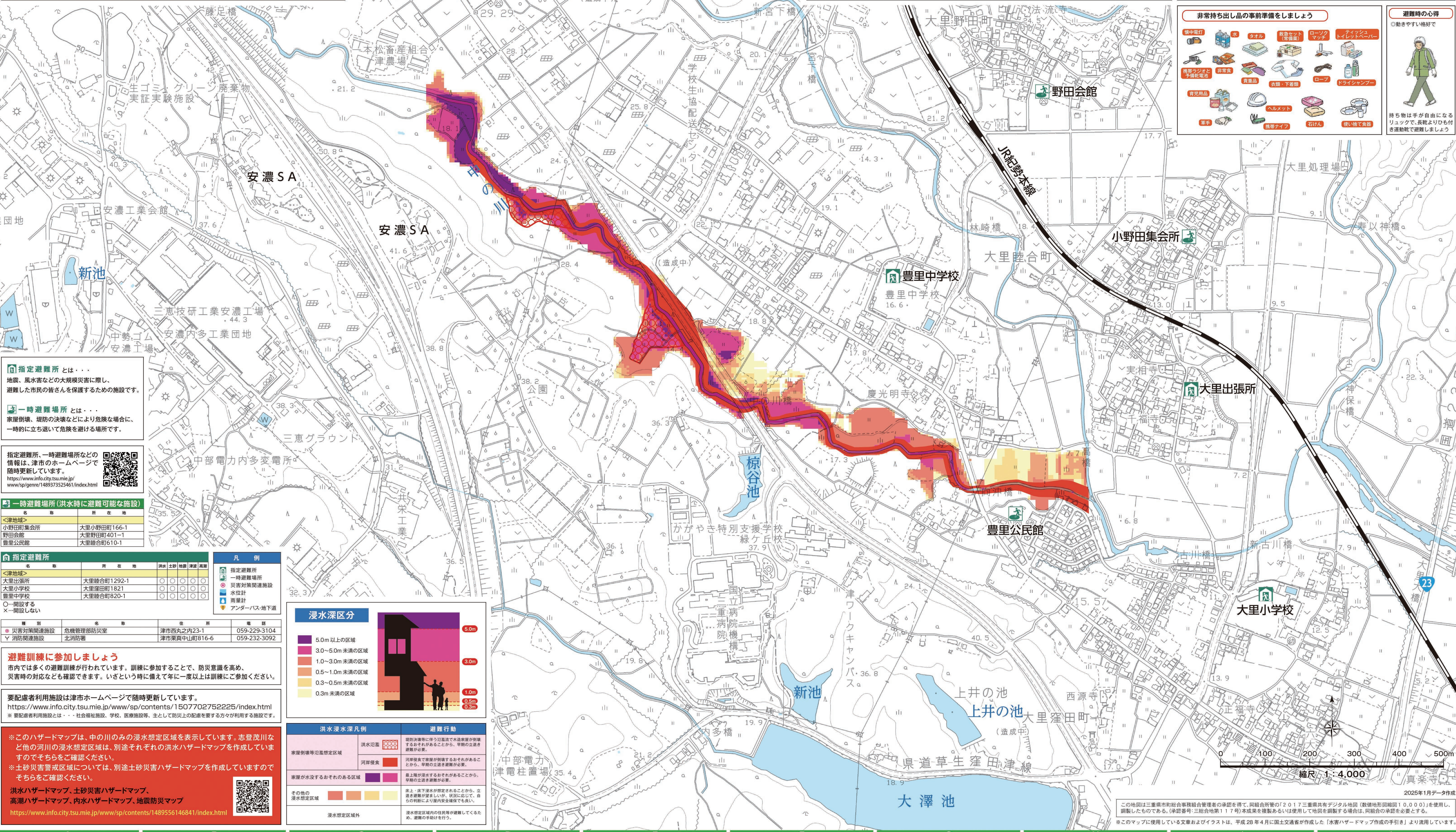
このハザードマップは、中の川が大雨によって洪水になった場合の浸水想定区域(三重県県土整備部作成)に基づいて、流域で想定される浸水範囲とその程度や、各地域の避難所等を示したものです。

1)対象とした降雨
想定最大規模の降雨(現状の科学的な知見や研究成果を踏まえ、ある程度の蓋然性をもって想定し得る最大規模のもの)
[中の川流域の24時間総雨量836mm]

2)洪水浸水想定区域は、マップ作成時において中の川(三重県管理区間)の河道整備状況等を勘案して、対象とした降雨に伴う洪水により氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

3)洪水の予想される区域及びその程度は、雨の降り方や土地の形態の変化及び河川の整備状況により変化することがあります。

この地図上で色がついている区域は、大雨により浸水するおそれがある区域です。特に家屋倒壊等氾濫想定区域や浸水深が深い区域においては、避難情報に従って当該区域から安全な場所に速やかに・確実に立ち退いてください。



事前の心構えと避難の心得

- ◆家のまわりを点検・整備
家の前の排水溝が詰まっていらないか確認や、庭で取り除かれる物の処分等が必要。
- ◆家庭でできる簡易水防
浸水深が小さいときは、下記のようにすることで、水の流入を減少させることができます。
・大きめのゴミ袋やポリタンク等に水を入れて、水の流入口となるところを塞ぐ。
・プランターをつなげて水の流入口となるところに置く。
・長めの板と土嚢で臨時の止水板を作る。
- ◆安全な避難路の確認を
避難場所等までの経路は、あらかじめ自分たちで決めておく、安全に通行できるかを確認しておきましょう。
- ◆正確な情報収集と早めの避難を
テレビ、ラジオ等で最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意しましょう。危険を感じたら早めの避難をしましょう。
- ◆二人以上の避難を
避難するときは2人以上で、隣近所への声かけをしましょう。
- ◆氾濫水は勢いが強い
氾濫水は、勢いが強く水深が数メートルあると人でも歩くのが困難です。緊急避難として、高い堅牢な建物にとどまることも選択肢の一つです。

非常持ち出し品の事前準備をしましょう

避難時の心得
○動きやすい格好で

持ち物は手が自由になるリュックで、長靴よりひも付き運動靴で避難しましょう。

指定避難所とは・・・

地震、風水害などの大規模災害に際し、避難した市民の皆さんを保護するための施設です。

一時避難場所とは・・・

家屋倒壊、堤防の決壊などにより危険な場合に、一時的に立ち退いて危険を避ける場所です。

指定避難所、一時避難場所などの情報は、津市のホームページで随時更新しています。
<https://www.info.city.tsu.mie.jp/>
<https://sp.genre/1489373525461/index.html>

一時避難場所(洪水時に避難可能な施設)

名称	所在地
津地蔵	
小野田町集会所	大里小野田166-1
野田会館	大里野田町401-1
豊里公民館	大里陸合町610-1

指定避難所

名称	所在地	洪水	土砂	地震	津波	高潮
大里出張所	大里陸合町1292-1	○	○	○	○	○
大里小学校	大里窪田町1821	○	○	○	○	○
豊里中学校	大里陸合町820-1	○	○	○	○	○

○…開設する
×…開設しない

名称	住所	電話
災害対策関連施設 危機管理課防災室	津市西丸之内23-1	059-229-3104
消防関連施設 北消防署	津市東真山町816-6	059-232-3092

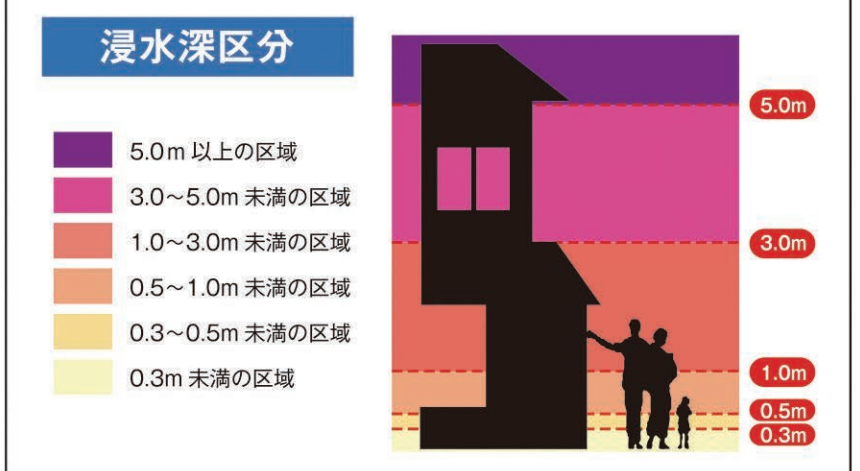
避難訓練に参加しましょう

市内では多くの避難訓練が行われています。訓練に参加することで、防災意識を高め、災害時の対応なども確認できます。いざという時に備えて年に一度以上は訓練にご参加ください。

要配慮者利用施設は津市ホームページで随時更新しています。
<https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/sp/contents/1507702752225/index.html>
※要配慮者利用施設とは・・・社会福祉施設、学校、医療施設等、主として防災上の配慮を要する方が利用する施設です。

※このハザードマップは、中の川だけの浸水想定区域を表示しています。志登茂川など他の河川の浸水想定区域は、別途それぞれの洪水ハザードマップを作成していますのでそちらをご確認ください。
※土砂災害警戒区域については、別途土砂災害ハザードマップを作成していますのでそちらをご確認ください。

洪水ハザードマップ、土砂災害ハザードマップ、高潮ハザードマップ、内水ハザードマップ、地震防災マップ
<https://www.info.city.tsu.mie.jp/www/sp/contents/1489556146841/index.html>



洪水浸水深凡例

浸水深	避難行動
家屋倒壊等氾濫想定区域	堤防決壊等に伴う氾濫域で木造家屋が倒壊するおそれがあることから、早期の立ち退き避難が必要。
河原浸食	河原浸食で家屋が倒壊するおそれがあることから、早期の立ち退き避難が必要。
家屋が水没するおそれのある区域	堤上風が浸水するおそれがあることから、早期の立ち退き避難が必要。
その他の浸水想定区域	堤上・堤下浸水が想定されることから、立ち退き避難が望ましいが、状況に応じて、自らの判断により屋内安全確保でも良い。

浸水想定区域外

この地図は三重県市町村総合事務組合管理者の承認を得て、同組合所管の「2017 三重県共有デジタル地図(数値地形図縮図10,000)」を使用し、編集したものである。(承認番号:三総合地第117号)本成果を複製あるいは使用して地図を編纂する場合は、同組合の承認を必要とする。
※このマップに使用している文書およびイラストは、平成28年4月に国土交通省が作成した「洪水ハザードマップ作成の手引き」より活用しています。